

# 平成22年度事業報告

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

## 1 会議の開催状況(評議員会、理事会、技術審査委員会、地域技術選定委員会)

平成22年 4月26日 第1回評議員会(書面表決)

議案第1号 評議員の辞任ならびに選任について

第1回理事会(書面表決)

議案第1号 役員の辞任ならびに選任について

5月27日 第2回評議員会

議案第1号 平成21年度事業報告について

議案第2号 平成21年度収支決算について

議案第3号 平成22年度収支予算の変更について

議案第4号 役員の辞任ならびに選任について

第2回理事会

議案第1号 平成21年度事業報告について

議案第2号 平成21年度収支決算について

議案第3号 平成22年度収支予算の変更について

議案第4号 評議員の辞任ならびに選任について

7月22日 技術審査委員会、地域技術選定委員会

平成22年度研究開発助成事業 4件の審査

平成22年度地域技術起業化助成事業 1件の審査

10月 4日 第3回評議員会(書面表決)

議案第1号 平成22年度事業計画の変更について

議案第2号 平成22年度収支予算の変更について

第3回理事会(書面表決)

議案第1号 平成22年度事業計画の変更について

議案第2号 平成22年度収支予算の変更について

平成23年 2月 8日 第4回評議員会(書面表決)

議案第1号 公益財団法人移行認定申請に係る定款の変更について

議案第2号 公益財団法人への移行認定に係る申請について

第4回理事会(書面表決)

議案第1号 公益財団法人移行認定申請に係る定款の変更について

議案第2号 公益財団法人への移行認定に係る申請について

2月28日 第5回評議員会

議案第1号 平成22年度収支予算の変更について

議案第2号 平成23年度事業計画について

議案第3号 平成23年度収支予算について

議案第4号 平成23年度運営資金借入限度額について

議案第5号 公益財団法人函館地域産業振興財団事務規定の一部改正について

議案第6号 公益財団法人函館地域産業振興財団就業規程の一部改正について

議案第7号 公益財団法人函館地域産業振興財団育児休業規定の制定について

議案第8号 公益財団法人函館地域産業振興財団再雇用規定の制定について

第5回理事会

議案第1号 平成22年度収支予算の変更について

議案第2号 平成23年度事業計画について

議案第3号 平成23年度収支予算について

議案第4号 平成23年度運営資金借入限度額について

議案第5号 公益財団法人函館地域産業振興財団事務規定の一部改正について

議案第6号 公益財団法人函館地域産業振興財団就業規程の一部改正について

議案第7号 公益財団法人函館地域産業振興財団育児休業規定の制定について

議案第8号 公益財団法人函館地域産業振興財団再雇用規定の制定について

## 2 事業の実施状況

### (1) 債務保証・低利融資事業

申込みなし

### (2) 技術振興事業

#### 研修指導事業

##### (ア) 産業技術研修

名称等	実施日	実施場所	講師等	参加人数
第1回産業技術研修会(経営環境変化に対応する経営戦略)	22年10月29日	ロワジュールホテル函館	酪農学園大学 教授 森永 文彦 氏	34名
第2回産業技術研修会(会社にお金が残る原価管理)	23年1月13日 1月14日	工業技術センター 会議室	中小企業診断士 堀口 敬氏、岩佐 秀明 氏	39名
第3回産業技術研修会(利益重視の経営～儲かるためのノウハウ～)	1月28日	工業技術センター 会議室	㈱MBコンサル 代表取締役 佐藤 利幸 氏	17名

##### (イ) 技術コンサルティング事業

1件

##### (ウ) 研修生受入れ

受入実績 4名

##### (エ) 科学情報の提供

J D R E A M等を利用した特許情報の提供を行った。

##### (オ) 異業種交流の推進

首都圏企業との交流事業に参加 1名

#### 研究開発助成事業

高度技術の開発促進や高度技術を利用する企業等育成のため、次の研究開発テーマに助成を行った。

##### (ア) 平成22年度は、次の研究開発テーマ3件について助成した。

企業名	研究開発テーマ名	助成額
有限会社バイオクリエイト	基礎化粧品に係る天然成分による安定処方確立	2,183千円
根ぼっけ 福留 誠	地域産原料を用いたバッテラ寿司の高品質化・生産省力化に関する研究開発	248千円
株式会社メデック	多品種対応箱詰用ロボットのシステムの試作開発研究	3,000千円

##### (イ) 次の研究開発テーマについては、平成23年度に事業完了予定のため助成額を繰越した。

企業名	研究開発テーマ名	助成予定額
中村物産株式会社	高効率温風発生炉の開発	1,791千円

#### 技術者研修助成事業

地域企業の技術者等を先進企業等に派遣して研修を行わせるための経費について助成を行った。

助成件数 19件

#### 自主研究開発事業

##### (ア) 自主研究開発事業

地域ニーズを基本に地域企業への技術移転も視野に入れながら、次の2テーマについて自主研究を行った。

- a セルロースを基質とした草本系材料の粉碎技術の研究開発
- b フィールド用微小電流測定技術の研究開発

(イ) 企業課題対応事業

企業等が新製品開発を行う取組みに対し、初期段階でのフォローアップとして次の5テーマについて試作、評価などを行った。

- a 昆布酢の安定的生産技術の開発
- b イカを利用した発酵食品の開発
- c ホタテ貝殻を用いた凝集剤の試作と評価
- d 単分散イカ墨顔料の保存試験と評価
- e 乾燥コンブ雑物集塵装置の基礎試験

産学官連携型クラスター整備事業

地域が持つ技術、ノウハウ、企業等の産業力と大学など学術研究機関が有する知的資源を積極的に活用しながら、新たな地域産業の創出に向けたプロジェクトの開発検討等を支援するため、次の2テーマについて研究開発を行った。

- (ア) 北海道の新しいダイズ品種タマフクラを用いた冷凍枝豆製品の開発
- (イ) 色素胞運動能保持を特徴とする発泡イカの輸送技術開発

新事業展開等促進事業

(ア) 中小企業早期再生支援事業

a 主な活動内容

名称等	実施日	実施場所	内容	出席人数 又は件数
中小企業再生支援事業に係る広報活動	22年4月 ～ 23年3月	道南圏の信用金庫及び信用組合	金融機関との連携体制の促進、再生事業に係る協力関係を確保するための広報活動を実施した。	20件
支援セミナーの開催 「利益重視の経営、儲かるためのノウハウ」	23年1月28日	道立工業技術センター会議室	収益力をあげるために「やめる」「削る」「変える」をキーワードとした筋肉体質の企業を作り上げるための要点について学習。 (講師) ㈱MB代表取締役 佐藤 利幸 氏	17名

(イ) 新事業展開等促進事業

- a 企業の経営面、技術面等の課題を解決するため、IM(インキュベーション・マネジャー)からの助言や他の支援制度の紹介及び専門家の派遣などを行った。

相談件数 71社 延べ201回  
専門家の派遣状況

氏名	実施日	派遣先企業名等
アサnte経営労務事務所 手島 伸夫 氏	22年7月2日	熊石深層水㈱
㈱ヒューマンキャピタルマネジメント 吉澤 慶記 氏	7月16日	㈱ノース技研
㈱ヒューマンキャピタルマネジメント 吉澤 慶記 氏	7月16日	㈱駒ヶ岳ファーム大久保
食・工房ミイロ トータルフードコーディネータ 高井 瑞枝 氏	12月1日	池ノ上トモエ㈱
食・工房ミイロ トータルフードコーディネータ 高井 瑞枝 氏	12月2日	近藤チーズ牧場
食・工房ミイロ トータルフードコーディネータ 高井 瑞枝 氏	12月2日	㈱駒ヶ岳ファーム大久保

- b 起業家を効率よく支援するための知識の習得や人的ネットワークを形成するため、情報交換

会等に参加した。

名称	実施日	内容	参加職員数
第1回北海道IM連携促進会 (札幌市)	22年5月13日	IMの活動状況報告、情報収集、ノウハウの共有、ネットワークの構築など	2名
第2回北海道IM連携促進会 (函館市)	10月29日	道内インキュベーション施設との連携強化とIMのスキルアップを図るため、講師を招いた勉強会を実施 講師：21 あおもり産業総合支援センター 加藤 雅紹 氏	3名
北海道IM連携促進会スキルアップ研修 (福岡市、大分市、別府市)	23年1月13日 ～ 14日	・第16回ビジネスインキュベーションプラザwithJBIAシンポジウムへの参加 ・大分市職員等との意見交換会 ・ユナイテッドシェア大分の視察ほか	2名
第3回JBIAシンポジウム (横浜市、相模原市)	2月18日 ～ 19日	・ワークショップ ・(株)さがみはら産業創造センターの視察	2名
北海道IM連携促進会運営委員会 (帯広市)	2月24日	道内インキュベーション施設との連携強化とIMのスキルアップを図るため、講師を招いた勉強会に参加 講師：花巻市起業化支援センター 総括コーディネータ 佐藤 亮氏	2名

### 財団活動 PR 事業

当財団の支援制度や道立工業技術センターの各種事業の広報活動として次の事業を実施した。

区分	事業内容等
PR 事業の実施	・はこだて国際科学祭 2010 に参加し、食関連を中心にPRを実施 ・工業技術センターの利用促進を図るため渡島・檜山管内の自治体、商工団体、企業を訪問し、各種事業を説明
WEB サイトの更新	函館・道南の頑張っている企業紹介コーナーサイトのリニューアル
メールマガジンの発行	財団や工業技術センター及び関連する機関の情報発信

### 地域資源活用新商品販売チャンネル支援事業

都市エリア産学官連携促進事業や地域の中小企業との共同研究等により、地域資源を活用して創出された多数の新商品の販売促進や地域ブランドの形成に向けた支援活動を行い、地域企業の販売チャンネルの拡大を図った。

(ア) 展示会等での販売促進、販路拡大、市場性調査活動

a 出展、出展支援を行った全国規模の展示会など

展示会など	実施日	場所
科学・技術フェスタ in 京都	22年6月5日	京都市
はこだて水産食品展示フェア	6月23日	函館市
産学連携学会	6月24～25日	函館市
機能性食品・化粧品ビジネスマッチング in 札幌	9月9日	札幌市
日本写真測量学会	9月14～15日	函館市

G 空間 E X P O	9 月 19 ~ 22 日	横浜市
Bio Japan	9 月 29 日 ~ 10 月 1 日	横浜市
食品開発展	10 月 13 日 ~ 15 日	東京都
函館国際水産・海洋都市構想海藻シンポジウム	23 年 2 月 3 日	函館市
シーフードショー大阪	2 月 15 ~ 16 日	大阪市
2011 食クラ・フェスタ	3 月 8 日	札幌市
北海道コーディネータ・ネットワーク・フォーラム	3 月 14 日	札幌市

b 企業の販売支援や商品の市場性調査を行ったローカルイベントなど

ローカルイベントなど	実施日	場所
カミダイ夏祭り	22 年 7 月 18 ~ 19 日	上磯ダイエー
函館空港での催事	7 月 26 日	函館空港ビル 2 F
	9 月 10 日	
	11 月 22 日	
	23 年 2 月 11 日	
箱館奉行所 祝・復活市	22 年 7 月 31 日	五稜郭公園
はこだてマリンラーニング	8 月 21 ~ 22 日	旧クイーンズポート前
アベニュー祭	8 月 22 日	ヤマハアベニュー五稜郭
電気工事業全国大会	9 月 9 日	函館市民会館
秋の ECO 食べ STYLE	9 月 12 日	トヨタカローラ函館
秋の大北海道展	9 月 20 ~ 21 日	東武百貨店 池袋店
食品元気まつり	10 月 3 日	函館市水産物地方卸売市場
食の学園祭	10 月 5 ~ 6 日	札幌三越
はこだてカルチャーナイト	10 月 8 日	函館市臨海研究所
道南うまいもの&がごめ昆布製品フェア	10 月 9 ~ 10 日	テーオーデパート
秋の青果市場まつり	10 月 10 日	函館市青果物地方卸売市場
函館ラ・サール学園創立 50 周年記念事業	10 月 23 日	函館国際ホテル
ほっかいどう海鮮王国フェスティバル	11 月 12 日	東急百貨店 さっぽろ店
大学は美味しい!!	23 年 3 月 16 ~ 21 日	高島屋 大阪店

(イ) 函館地域での販売促進、販路拡大支援活動

- a 公共施設等での商品展示
- b 函館市路面電車路線図に「がごめ昆布とアンテナショップ」を掲載し P R

(ウ) 地域ブランド形成の支援活動

- a 販売拠点（函館がごめ昆布アンテナショップ等）への支援
- b がごめ昆布料理店の開拓
- c 調理法の普及や新メニューの開発支援

支援活動を行ったイベント	実施日
清尚学院高等学校調理科でのがごめ昆布料理講習会	22 年 6 月 11 日
地元食材を使った料理レシピコンテスト	22 年 6 月 ~ 7 月
アサヒビール(株)ホームページでの昆布料理レシピコンテスト	22 年 6 月 ~ 8 月
函館がごめカフェでの一般市民向けがごめ料理試食会	22 年 7 月 8 日
	11 月 27 日
	12 月 7 日

(エ) 販売チャンネルの拡大支援

大学との連携でブランド化した商品等について販売チャンネルの拡大支援を行った。

(オ) 新商品の試作支援と販売促進資料の提供

地域	試作支援	資料提供
函館圏企業	3件	39件
道内企業	0件	10件
道外企業	3件	6件

(3) 高度技術開発等事業  
研究開発事業

(ア) 高度技術開発・応用研究事業

地域のニーズに根ざした次の10テーマについて、研究開発を行った。

- a 水産食品製造業における工学的インプルの適用に関する研究 (H20~22)
- b 水産・海洋産業向け水中無線通信技術の研究 (H22~24)
- c 傾斜機能耐摩耗工具材料の開発 (H21~23)
- d 農水畜産系高分子のリサイクル技術の開発 (H20~22)
- e 真空を応用した光機能材料の薄膜プロセスに関する研究 (H21~23)
- f 食品水分状態を指標としたドライシステムに関する研究開発 (H20~22)
- g 生物情報の有効活用と地域バイオマス資源の高付加価値化に関する研究開発 (H20~22)
- h 農水産資源の素材を活用した商品化に関する研究開発 (H20~22)
- i 分子生物学的手法を利用した水産食品等の品質評価技術に関する研究開発 (H20~22)
- j 素材特性を生かした地域水産資源の高付加価値化に関する研究開発 (H21~23)

(イ) 起業化支援等研究推進事業

大学、公設試験研究機関、企業との共同研究及び起業化に関する調査を実施した。

試験分析事業

地域企業からの依頼を受けて、材料の強度試験、成分分析及び食品の微生物検査等の各種試験分析を実施した。

依頼試験・分析件数 190件

技術相談事業

企業等が行う新製品開発や製造工程等における技術的諸問題を解決するための技術相談を行った。

(ア) 個別技術相談

地域企業から技術的課題等について相談を受け、助言した。

相談件数 437件

(イ) 巡回技術相談

地域企業の技術向上を図るため、道立工業技術センター研究員が生産現場を巡回し、各企業の当面する技術的課題について相談を受け、助言した。

相談件数 7件

研修事業

研究開発の成果や新技術の普及等を図るため、発表会や研修会を開催するとともに企業等への個別技術研修を行った。

(ア) 一般技術研修

内容	実施日	参加人数
安心・安全を確保する食品工場の設計・レイアウトと管理 (研修会)	22年6月2日	27名
道立工業技術センター 研究成果発表会	6月11日	99名
中小企業における生産管理と改善手法 (研修会)	8月24日	22名
機能性食品・化粧品のマーケティングをいかに行うか (研修会)	9月27日	17名

電解水の食品加工プロセスへの利用技術（研修会）	10月28日	10名
知って役立つX線の食品産業への利用	11月12日	18名

#### （イ）個別技術研修

企業等の多様な技術的課題に対応するための個別研修を実施した。

開催回数 45回

開催日数 54日間

参加人数 58名

#### 技術情報提供事業

日本工業規格（JIS）の最新版、工業技術に関する専門図書、国内研究機関・大学・大手企業等の研究報告書、定期刊行物等を図書資料室に開架し、一般の利用に供した。

#### 広報等事業

工業技術センターの積極的な活用を図るため、次の事業を実施した。

名称	実施時期	内容
「HITEC ニュース」をWEBサイト掲載	22年6、9、12月、 23年3月	活動報告を中心とした技術情報の提供
「北海道立工業技術センター業務報告書」の発刊	22年6月	平成21年度業務内容の報告 発行部数：1,700部
科学技術フェスタ in 京都	6月5日	研究開発成果の紹介と展示（京都市）
第26回北海道産品取引商談会	6月8～9日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
フーマジャパン2010（国際食品工業展） アカデミックプラザ	6月8～11日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
はこだて水産食品展示フェア	6月23日	研究開発成果の紹介と展示（函館市）
はこだて国際科学祭2010	8月22日	研究開発成果の紹介と展示（函館市）
機能性食品・化粧品ビジネスマッチング in 札幌2010	9月9日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
G空間EXPO	9月19～21日	研究開発成果の紹介と展示（横浜市）
バイオジャパン2010	9月29日～10月1日	研究開発成果の紹介と展示（横浜市）
食品開発展2010	10月13～15日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
日本写真測量学会 秋季学術講演会	10月14～15日	研究開発成果の紹介と展示（函館市）
北洋銀行インフォメーションバザール In Tokyo 2010	10月20～21日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
サッポロヘルス&ビューティフェア2010	10月23～24日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
第24回北海道技術・ビジネス交流会	11月11～12日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
2011スーパーマーケット・トレードショー	23年2月8～10日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
第23回北海道産品取引商談会	2月15日、17日	研究開発成果の紹介等（東京都・大阪市）
第8回シーフードショー大阪	2月15～16日	研究成果品展示等（大阪市）



2011 サンエスコンフェクショナリー・フェア	2月 17日	研究成果品展示等（東京都）
北海道コーディネータネットワークフォーラム	3月 14日	研究開発成果の紹介と展示（大阪市）
大学は美味しい！！	3月 16～21日	研究成果品展示等（札幌市）

#### 地域産業化支援事業

地域における産学官の連携を図り、大学や道立工業技術センターの技術シーズの地域企業への移転を促進することにより、新製品や新事業の創出を目的に下記の事業を実施した。

- （ア）機械部品の超精密加工技術に関する産業化支援研究
- （イ）機能性探索による地域食品素材のブランド力向上のための研究開発
- （ウ）近赤外分析による地域食材及び加工食品の品質評価技術の開発

#### 受託研究開発等事業

企業等における研究開発や新製品の開発を促進するため、受託研究及び共同研究を実施した。

- （ア）受託研究 5件
- （イ）共同研究 16件

#### 北海道立工業技術センター指定管理者事業

北海道から指定管理者の指定を受けてセンターの運営及び施設、機器等の維持管理を行った。

視察等来場者数 1,174名

#### 研究開発促進事業

工業技術センターの研究開発や受託・共同研究開発のフォローアップ、知的財産権の出願等の促進及び研究員の資質向上を図った。

#### 地域資源活用新商品開発支援事業

平成15年度から平成20年度まで実施した都市エリア産学官連携促進事業等により蓄積された技術及び地域資源を活用して、地域企業が地域資源活用型新商品を積極的に創出するため、新商品開発に関する試験・分析・試作等の支援を行った。

#### 地域イノベーションクラスタープログラム（グローバル型）

「函館マリンバイオクラスター事業」（事業期間：21年度～25年度）

文部科学省のマッチングファンド型補助事業で、優れた研究開発ポテンシャルを有する地域の大学等を核とした産学官の共同研究を推進し、産学官の網の目のようなネットワークの構築により、イノベーションを持続的に創出するクラスターの形成を図ることを目指すものである。

##### （ア）研究開発テーマ

海を計測可能な巨大な生産システムとして捉え、海洋生物由来有価物の持続的生産に必要なキーテクノロジーを総合的に研究開発し、持続的に発展可能なマリン産業クラスターを形成する。

環境を予測しつつ循環的に生産活動を発展させることにより、関連産業群の発展と沿岸の環境浄化・CO<sub>2</sub>高効率固定を同時に実現するとともに海洋由来食料生産モデルを戦略的に確立し、わが国の食料問題に貢献するほか、東アジアの生産拠点から環太平洋へと取組を発信・展開する。このため具体的に次の4テーマの研究開発を推進した。

- a 海洋空間情報を活用した沿岸生物相・水圏環境の健全化と高次活用の両立
- b 高機能性物質を含有する北方系メガベントスの自立型バイオファーミング
- c メガベントスの生物特性を活かした高機能資源創出のための研究開発
- d 食と健康のグローバル・スタンダード構築のための研究開発

メガベントス：水域に生息する大型底生魚介類（海藻類、チョウザメ等）

（イ）産学官連携体制強化のための活動等

幅広い研究開発領域の科学的知見を持ったコーディネータと、経営者として事業化や様々なプロジェクトの管理さらには海外経験も含めた豊富なマネジメント実績のあるコーディネータを雇用し、両者の協働により事業の推進に取り組んだ。

また、地域ビジョンである函館国際水産・海洋都市構想の推進組織である一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構との連携を強化し、クラスター拠点形成を推進した。

（ウ）成果育成

- a パンフレット等の広報資料を作成し、事業内容の周知や共同研究事業への参画の呼びかけを幅広く行った。また、海外の研究機関との連携・交流として、米国から海洋 GIS に関する研究者を招聘し、研究交流を図った。さらに、本研究参加者のニュートリゲノミクス解析に関するカナダ国家プロジェクトの国際アドバイザーへの就任や、インド国立食品科学研究所との海藻及びエビ未利用部分の有効活用に関する共同研究の実施など、幅広い研究分野での連携、交流を図った。
- b マリンバイオ分野の複数の研究者を海外から招聘し、国内の研究者と合同で函館国際マリンバイオ・シンポジウムを開催した。
- c グローバル市場販路開拓支援事業として、クラスターの成果品や成果技術の海外商談会を実施するため、中国上海、韓国の商談会の状況等を調査した。
- d 札幌の Bio-S クラスターや十勝のアグリバイオクラスターなど道内他地域との交流を推進するとともに、長崎、沖縄、石川、愛媛、静岡といった国内他地域との交流も開始した。  
また、海外研究機関との交流は、中国、韓国、台湾など東アジアを中心に進めた。

戦略的基盤技術高度化支援事業

経済産業省の委託事業で、我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術の高度化に資する革新的かつハイリスクな研究開発等の促進を目的とするものである。

（ア） 3D-EL；無機 EL シートの 3 次元一体成形による操作パネルの開発（事業期間：22 年度～23 年度）

情報家電等の操作パネルは、部品点数や設計・組立コストの低減、省電力化、薄型化とともに新しいデザイン、ユーティリティの向上などが求められている。本事業では、平成 21 年度に行った 3D-EL の成形実験に基づき、量産化に不可欠な課題である成形時間の短縮、多様なデザインにおける金型設計検証、インサート成形技術の確立、3D-EL シートの耐久性改善、電極端子の引き出し構造の確立、品質検査法の確立等を目指す。

- a 3D-EL 成形プレス装置の改善
- b インサート成形
- c 電極端子の確立
- d 検査装置による EL 構造の変異分析
- e 信頼性試験、評価

（イ）高速、高純度な金属ナノ粒子ペースト用材料製造法の開発（事業期間：22 年度～24 年度）

日々小型化・集積化が進む携帯電話やパソコンなどの電子部品では、今後更なる小型化のために次世代印刷基板配線技術が不可欠な技術と目されている。

本事業では「マイクロ波液中プラズマ法」という新しい技術を用いて、高純度金属ナノ粒子の製造・量産化への研究開発及びその金属ナノ粒子をペーストに加工する最適条件の探査を行い、より高品質で安価な金属ナノ粒子ペーストの提供を目指す。

- a マイクロ波液中プラズマ装置の課題と改良
- b 最適なナノ粒子生成条件の探査
- c プロトタイプ機の試作

(4) 地域産業活性化事業

起業化助成事業

地域企業が起業化に向けて行う事業に対する支援で、次の1件について助成した。

企業名	研究開発テーマ名	助成額
(株)だるま食品本舗	たまふくら大豆の加工特性を保持した中間素材の開発と商品開発	5,000 千円

市場・販路開拓等事業

(ア) 地域技術・製品市場販路開拓事業

a 北洋銀行・帯広信用金庫インフォメーションバザール in Tokyo 2010

地域企業が首都圏市場における販売ルートの開拓や販路の拡大を図ることを目的に開催され、企業とともに参加し、支援を行った。

会期 平成22年9月2～3日

会場 池袋サンシャインシティー ワールドインポートマート(東京都)

入場者 4,000名

出展企業 株式会社天狗堂宝船、根ぼっけ

b 第24回北海道技術・ビジネス交流会(ビジネス EXPO)

ビジネス EXPOにおいて「はこだて21 ビジネス交流ゾーン」を出展し、地域企業等の市場開拓、販路拡大の支援及び工業技術センターが関わった企業との共同研究の成果等を紹介した。

会期 平成22年11月11～12日

会場 アクセスサッポロ(札幌市)

入場者 18,121名

【出展内容】

企業名	主な出展品
有限会社エイトファーム	無臭地帯フラボ(消臭剤)ほか
株式会社エスイーシー	水産業向け製造管理システム ほか
株式会社エルフィン	ペーパーライト・ネオ等 EL 関連商品
合同会社オーガニックケルブ	海藻塩 ほか
株式会社カドック	重金属吸着剤、環境共生 LED 照明ほか
株式会社駒ヶ岳ファーム大久保	トマトソース ほか
株式会社コーノ	熱源内蔵 FF 式真空暖房機
株式会社ノース技研	昆布を原料とした曇り止め剤
函館酸素株式会社	液体窒素凍結保存容器、手のひらサイズの各種ガスボンベ
函館ラバープロダクツ研究所	特殊ゴム製品
株式会社ハンダ	家庭用、業務用生ごみ消滅機 ほか
有限会社パテントワークス	座位バランスツール「アピュア」 ほか
日乃出食品株式会社	やっこさんとうふ ほか
みぞぐち事業株式会社	光触媒、凝集剤 ほか
道立工業技術センター紹介ブース	地域資源を活用した特徴のある企業製品の紹介 ・かごめ昆布関連商品(食品・化粧品)・いかしゅうまい ほか 共同研究等の紹介 ・ReBNA(鼻呼吸をサポートするトレーニングマスク) ほか

c 第45回スーパーマーケットトレードショー

地域企業が首都圏市場における販売ルートの開拓や販路の拡大を図ることを目的に毎年開催されており、企業とともに参加し、支援を行った。

会期 平成23年2月8～10日

会場 東京ビッグサイト 東館（東京都）

入場者 83,421名

出展企業 株式会社天狗堂宝船、根ぼっけ、株式会社道南食品

(イ) 出展支援助成事業

函館地域の企業等が展示会などに参加して自社の有する技術シーズのPRや販路拡大を図るとともに、需要の開拓に必要な情報や他社の技術動向に関する情報等を収集するなどの活動に対し、次の4件の助成を行った。

実績 4件

企業名	実施日	展示会の名称	助成額
(株)コーノ	22年11月10～12日	中小企業総合展2010 in Tokyo	529千円
道南食品(株)	23年2月8～10日	第45回スーパーマーケットトレードショー	312千円
(株)天狗堂宝船	2月8～10日	第45回スーパーマーケットトレードショー	236千円
居酒屋根ぼっけ	2月8～10日	第45回スーパーマーケットトレードショー	213千円

(ウ) 販路拡大セミナー

ITを活用して何ができるかに着目し、近年マーケティングツールとしての効果が注目されているTwitterの有効性について解説を交えたセミナーを開催した。

名称等	実施日	実施場所	講師等	参加人数
Twitterで売り上げを伸ばす方法	23年3月9日	道立工業技術センター 会議室	ホームページコンサルタント 永友事務所 永友 一朗 氏	16名

起業化促進事業

(ア) 起業化コーディネート事業

起業化を促進するため、専門家を派遣して助言等を行う事業である。

申込なし

(イ) 起業化スキルアップ研修事業

企業の製品開発には完成品のイメージ作りも必要となる。イメージ作りツール的手段としては3次元モデリングソフトがあり、基本操作からモデリングまでの習得を目的に実技研修会を開催した。

名称等	実施日	実施場所	講師等	参加人数
3次元モデリング入門研修会	22年7月9日	函館市産業支援センター	(株)アプリクラフト 代表取締役 女井 誠司 氏	6名

(ウ) ものづくり学習塾事業

次代を担う小学生を対象に、科学する心の育成やものづくり意識の啓発を図ることを目的に科学実験講座とものづくり企業見学会を実施した。

名称等	実施日	実施場所	講師等	参加人数
わくわくサイエンスツアー (科学実験講座とものづくり企業見学会)	22年7月28日	・道立工業技術センター ・(有)マルナマ食品	市立函館高等学校 教諭 渡辺 儀輝 氏	38名
わくわくサイエンスツアー (科学実験講座とものづくり企業見学会)	12月27日	・道立工業技術センター ・(株)東和電機製作所	市立函館高等学校 教諭 渡辺 儀輝 氏	41名

(工) 起業先進地調査事業  
実績なし

広域的産業立地支援事業

経済産業省の補助を受け、函館地域産業活性化協議会（財団は、協議会の事務局を担当）として首都圏に企業誘致推進員を配置し、企業誘致活動を中心に事業を推進した。企業誘致推進員は、これまでの経歴を生かした企業訪問活動のほか、アンケート調査の結果を活用した訪問企業の新規開拓などにより、企業立地動向の情報収集や当地域の企業立地環境の優位性についての情報を発信しながら、首都圏企業と当地域との橋渡しを行う中で企業誘致活動を行った。また、東京都内で企業立地セミナーを開催し、当地域の立地環境の優位性や各種助成制度のPR、さらには活発な産学官連携の取り組み状況などをアピールし、当地域への立地の動機付けを図った。

- (ア) 首都圏での企業誘致推進員の配置 1名
- (イ) 上期アンケート調査結果 回答数 1,496件(回答率10.15%)
- (ウ) 下期アンケート調査結果 回答数 1,530件(回答率12.75%)
- (エ) 企業立地セミナーの開催

開催日 平成23年2月15日 開催場所 東京都 新丸の内ビル 参加人数 84名

広域的産業集積活性化支援事業

北海道経済産業局の補助事業で、函館地域におけるマリンバイオ分野の研究開発成果をビジネスに結びつけることを目的に、バイオ関連の産学官による函館地域バイオ産業クラスターを組織化し、ネットワーク強化、技術指導、連携促進、販路開拓支援、情報提供などの事業を実施した。

平成22年度は、新商品・技術についての勉強会の開催や企業指導、販路開拓、展示会・商談会への出展などを道央・十勝地域との連携のもとに行った。

- (ア) 地域間連携・ネットワーク強化事業
  - a 北海道バイオ産業集積活性化広域連携会議(2回)
  - b 北海道バイオ産業集積活性化事業運営会議(3回)
  - c 北海道バイオ産業クラスターフォーラム総会・企業プレゼン会 参加(1回)
  - d とかち財団「平成22年度成果発表会」参加(1回)
- (イ) 販路拡大事業
  - a 北海道 フランス「食・健康クラスター」ビジネス交流会(札幌市)
  - b 第26回北海道産品取引商談会(札幌市)
  - c 機能性食品・化粧品ビジネスマッチング in 札幌2010(札幌市)
  - d バイオジャパン2010(横浜市)
  - e 食品開発展2010(東京都)
  - f サッポロ ヘルス&ビューティフェア2010(札幌市)
  - g 第24回北海道産品取引商談会(東京都、大阪市)
  - h 2011サンエス・コンフェクショナリ・フェア(東京都)

(ウ) 新事業創出支援事業

テーマ	講師	実施日	場所	参加人数
最近の化粧品開発の動向	元北日本化学(株)中央研究所	22年9月2日	道立工業技術センター	8名
講師による企業への指導・助言	駒本智己氏	9月3日		-
食の安全と安心	(株)日本食品開発研究所	12月7日		8名
講師による企業への指導・助言	代表取締役 中塚正博氏	12月8日		-
マーケティングから何が売れるか	(株)マイズ	23年3月30日		15名
講師による企業への指導・助言	代表取締役 三浦良夫氏	3月31日		-

(5) 函館市産業支援センター運営事業

函館市から指定管理者の指定を受け、産業支援センターの運営、施設・機器等の管理を行うとともに

入居施設への入居者募集やインキュベーションマネージャーによる経営支援などを行った。

また、起業化の促進を図るため、パソコンによる実技研修の実施やコーチングセミナーの開催などを行った。

函館市産業支援センター指定管理者事業

- (ア) 入居施設への入居者募集及び入居相談に関すること
  - a 市内関係施設やイベント、諸会議でのパンフレット配布
  - b 新聞報道及び機関誌等への掲載
- (イ) インキュベーションマネージャー等による入居者への経営支援などの実施
  - a インキュベーションマネージャー、工業技術センター研究員、産業支援センター職員の技術的アドバイスや補助事業等の情報提供
  - b インキュベータファクトリー入居企業に対する指導回数 年 29回
- (ウ) 入居者等の交流・情報交換会の実施
- (エ) 利用実績
  - a インキュベートルーム入居企業 無し
  - b インキュベータファクトリー入居企業 4社
  - c マルチメディアルーム、デザイン開発室利用者 1,439名
  - d 視察来館者 43名
- (オ) 起業化に向けたパソコン実技研修の実施

名称等	実施回数	講師等	参加人数
写真編集実技研修会(初級)	4回	(株)グローバル・コミュニケーションズ 伊藤 智亮 氏 齊藤 洋美 氏	22名
イラスト作成実技研修会(初級)	4回		20名
パンフレットポスター作成実技研修会(中級)	2回		12名
パワーポイント作成実技研修会	2回		11名

函館市産業支援センターに関する財団独自事業(一般管理費)

- (ア) イベント等における入居者の成果品発表を側面から支援
  - a ビジネス EXPO への出展(入居等企業4社)
- (イ) コーチングセミナーの実施  
(開催日 平成 23 年 2 月 23 日、会場 サン・リフレ函館)

内容	講師等	参加人数
第1部「4面思考法で学ぶ “成功するために必要な15の起業力”」	(株)ジーアンドエス 代表取締役 萩原 扶未子 氏	27名
第2部「指示待ち社員から自主性のある社員を育てる “ビジネスコーチング入門講座”」	(有)TAOK(トク)人財開発 代表取締役 佐藤 寛 氏	

(ウ) パーソナルコーチングの実施

(開催日:平成23年3月23~24日、会場:函館市産業支援センター マルチメディアルーム)

内容	講師	参加人数
コーチングセミナー受講者に対する個別のフォローアップ コーチング	(有)TAOK(トク)人財開発 代表取締役 佐藤 寛 氏	8名

函館市産業支援センターのIT支援事業

IT関連の若手起業家を育成して、IT産業の振興に資するための「eスペースはこだて」の運営及び施設の管理を行った。

- (ア) 利用実績  
インキュベータ入居 3社